

11月から各支所（篠岡・味岡・北里）でも「こまきスマート窓口」が始まりました！



問合せ先 篠岡支所 (☎ 79 - 8008)、味岡支所 (☎ 76 - 2821)、北里支所 (☎ 76 - 2822)

スマート窓口とは

窓口を利用する方が申請書等を記入することなく、職員が作成した申請書等に「確認・署名」する本市の新しい窓口スタイルです。

書類の記載方法に悩む必要がなくなり、いくつもの申請書に氏名、住所、生年月日などを繰り返し書く必要がなくなるため、簡単に手続きが行えます。



篠岡支所



北里支所



味岡支所



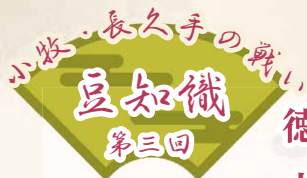
各支所でスマート窓口の対象となる手続き

- ・証明発行に関する手続き
(住民票の写し、印鑑登録・証明等、戸籍謄(抄)本、納税証明、所得証明)
- ・住民異動に関する手続き(転入・転居・転出)
- ・マイナンバーカードに関する手続きの一部
- ・国民年金・国民健康保険・後期高齢者医療・子ども医療・児童手当に関する手続きの一部

書類の記入不要！
書類の確認のみで
ラクラク！



詳細はこちら▶



徳川四天王 榊原康政 小牧山城でがんばる①

小牧・長久手の戦いに際して、家康軍は、織田信長が築いた小牧山城を戦いに備えた陣城として改修します。その大仕事を担ったのが、徳川四天王の一人、榊原康政です。1584年3月18日に家康から小牧山城の築壘を命じられた康政、なんとたった4日後の22日には工事を完了させています。昼夜ない突貫工事は、いつ秀吉軍が攻めてくるかわからない極度の緊張感の中で進められたことでしょう。

NEXT…榊原康政は小牧山城に
どんな工事を施したのか？

(12月1日号に続く)

防災メモ 災害への備え



逃げなきゃコール

事前に、スマートフォンやショートメッセージサービスの地域登録機能を活用し、離れた場所に暮らす高齢者の家族など相手の地域を登録することで、登録した地域に水害などの危険が迫った際、アプリやサービスを通じて防災情報をプッシュ型で受け取れるようになります。

この情報を基に、離れた場所に暮らす家族などの大切な人に直接電話等で「逃げなきゃ」と避難を呼びかけ、避難を後押しする国土交通省が推進する取り組みです。

近年の豪雨災害では、避難をせずに自宅で被災した方が少なくありません。あなたの「逃げて！」の一言が大切な人を災害から守ることに繋がります。

アプリサービスを活用して災害情報を確認し、あなたから大切な人へ避難の呼びかけをしましょう。